

仙台仏教青年会より

いつもたくさんの方の支援有難うございます。おかげさまでお念珠用のたまも届いています(随時募集です)。非常に微力ではありますが、皆さまからの物資を避難所などにお届けしています。現在は無料バザーという形式ということもあり、多くの方が利用してくれています。避難所自体には物が届いていても、公平に配ることが難しいため個人の手に届かないというところもあるようです。

今回お配りしていた中に、手作りの巾着や手さげ袋がありました。どこに行ってもそうですが、小分けのビニール袋、紙袋、カゴ、トレイ、バック類は人気があります。すごい勢いで品がなくなっていく中で、ある方が戻って来て中に手紙が入っていたことを教えてくれました。被災された方への応援のメッセージでした。これを見て、一つ一つの品が全国からの応援の品なんだ、この手紙をくれた人に返事を書きたいと思われたそうです。それから他の袋も見ると、それぞれ手紙が入っていました。このことで感じたのは、気持ちを伝える言葉のちから。ただ物が届いてるんじゃないやなくて、応援してくれてる人の気持ちが、手紙を通してあらためて伝わったんだと思います。

私たちはこれからも物資をお届けしていきますが、全国から送ってくださる時に被災地で生きようとしていらっしゃる皆さんにメッセージなどを添えていただければ力になると思います。バザーや、お渡しする際にそのメッセージもいっしょにお届けします。

これからは仮設住宅への移動が進むので、避

難所の皆さんといっしょに乗り越えていたことを、それぞれが個々に受けていくようになってきます。その時に、全国の皆さんからのメッセージはきつと力になると思います。

ある避難所のおじさんは、「物はいいんだ。こうやってまた、どうですかって来てくれるだけで」と言ってくれました。でも物はやっぱり必要です。そしてうまく言葉にできませんが、人とのつながりというか、その人を思う心が必要とされてるように感じます。メッセージのみも大歓迎です。よろしくお願いします。(関口)

6月中旬、避難所から仮設への移動が始まるけれど、入居を望まない人が少なくない。避難所には物資が届くけれど、それ以外は届かない。在宅の被災者への配給が中止されている。親しい身内や職もなにもかも、多くのものを失い、支援金も届かない中、どうやって生活をしているのか。ライフライン、なにで未だに復旧せんの？三ヶ月、電気、ガス、水道のない生活できますか。無策という人災が。それに加えて私たちの無関心が追い打ちをかけているかも知れません。被災地をたずねた方の報告です。

それでみなさん！ 同封した紙、その他で

メッセージを

寄せて下さい！

支援品に、大小かばんをいっぱいお預かりしています。それにメッセージを入れて送りたいと

思います。挟み込んだ用紙に一言被災された方へメッセージを書いていただけたら有り難く存じます。別の形でも結構です。

お家で眠っている**念珠の珠**や、ビーズ賞

味期限が長い**食料品**調味料や保存食

などありましたらお寺へお届け下さい。

今月送ったもの…仏青、サンガ岩手へ

春物衣料、下着、靴、絵本、日用品、仮設生

活への調味料等食料品 支援金…仙台仏青、

負けねど飯館！プロジェクトへ一万五千元

「前田真吹さん福島、石巻報告会」

真吹さんありがとう 参加してくれた人ありがとう たくさんさんカンパが集まって 東北関東震災いのちつながる資金と名付けて真吹さんに託しました(4万7千円)。

答えは出ないけど 正確なこと知らない自分たち、知り続けることだけはしたいと、やれること探す、自分の事だ。やりたくない気持ちもしりつつ、やらないでもいられず…。真吹さんうちにとまって(朝の鐘にもめげず)ゆっくり休めたと言ってくれてほっとした。昨日は夕ご飯も食わずに済ましてしまった真吹さんに 朝ごはんをしっかりと食べてもらわないと！で、ゆっくり朝ごはんタイムに色んな話を聞かせてもらった アフガンで本当に悲惨な 戦争の本当を見てしまった。そこから離れることのできない人々、帰る所のある自分。でもそのことは逆に、それまで持っていた漠然とした自分の内なる恐怖心を押しよこした…。